

「子どもと聖書と
エキュメニカル運動」
検証プロジェクト2026

第三報



AVACO視聴覚教材展 &

公開講座



「キリスト教視聴覚センター」(AVACO)の紙芝居や絵ばなしなど、紙媒体による教材の歴史的役割を検証し、デジタル化社会の中でのキリスト教コミュニケーションのあり方を考えます。歴史的な作品の展示会と公開講座へのご観覧・ご参加をお待ちしています。

Peatix申込締切は2日前の17時まで。



公開講座⑥⑦⑧の参加希望はPeatixからお申込みを！

7.18(土)

8.1(土)

9.5(土)

6

14:00-15:30

7

14:00-15:30

8

14:00-15:30

講師：小見のぞみ

(関西学院短期大学教授)

@日本キリスト教会館4階会議室
新宿区西早稲田2-3-18

対面(先着40名)

+オンライン

要事前申し込み

参加費500円

<https://nccj-edu06.peatix.com>



講師：東 義也

(尚絅学院大学教授)

@教文館3階ギャラリーステラ
東京都中央区銀座4-5-1

対面(先着25名)

+オンライン

要事前申し込み

参加費500円

<https://nccj-edu07.peatix.com>



講師：菊野秀樹

(比治山学園短期大学教授)

@日本キリスト教会館4階会議室
新宿区西早稲田2-3-18

対面(先着40名)

+オンライン

要事前申し込み

参加費500円

<https://nccj-edu08.peatix.com>



AVACO視聴覚教材展

AVACOの紙芝居・絵ばなし等の
展示と上演 【入場無料】

会場：教文館3階 ギャラリーステラ

8月1日(土)～9日(日)

時間 月～土 10:00-19:00

日 13:00-19:00

※上演時間は後日案内

大掛かりな道具の必要がない紙芝居はキリスト教教育の現場で活用され、子どもたちだけでなく演者をも育んできました。これらAVACOの視聴覚教材の中から、歴史的資料価値のある教材を紙媒体を中心に紹介します。「紙芝居」第一号や昭和初期の木俣武氏「かげ絵」、上田次郎氏「絵ばなし」など、貴重な資料の数々から、戦後の日本のキリスト教視聴覚教育の一端に触れていただければ幸いです。

お問い合わせは

03-3567-1995 (日本聖書協会視聴覚部 AVACO)
nccjedu@gmail.com (NCC教育部)

詳細はホームページでお知らせする予定です！

<https://avaco.info/>
<https://nccj-edu.jimdofree.com/>

NCC
エキュメニカル
協働基金
助成事業

公開講座 ⑥

視聴覚教材という教育メディアのこと



7月18日 土

講師 小見のぞみ (こみのぞみ)



参考図書『みんなで神の国を』小見のぞみ 2026 日本キリスト教団出版局

わたしたちは生成AI時代の今どきの子どもたちに、聖書を「自分ごと」にしてほしいと願っています。これからもずっと次世代の人たちと聖書の福音をわかちあっていきたい！ですから。そのためには、どんなメディア、方法で子どもたちと聖書を読めばいいのでしょうか。

たとえば日曜学校の始まりから、聖書のお話には聖画がセットで使われていました。そして数人から数十人の集まり（わたしたちの現場にぴったり）のためのグループメディアである視聴覚教材がさかんに開発されてきたのです。講座では、これらの視聴覚教材の今日的な「いいところ」と「警戒ポイント」を考えます。子どもたちと聖書を共に生きていくために――

公開講座 ⑦

お話を豊かにする視聴覚教材

～子どもとおとなの響き合い



8月1日 土

講師 東義也 (ひがしよしや)

子どもたちはおはなしが大好きです。そして、お話しくださるお父さん、お母さん、先生、おとなが大好きです。その大好きな人たちとの触れ合い、見つめ合い、声と言葉による語り合いは、子どもにとってかけがえのないものだと思います。そこにさらに紙芝居や絵ばなしなど、紙媒体による視聴覚教材が介在して起こる現象の意味はなんでしょう。そこで展開される豊かなコミュニケーション・響き合い（愛）をいっしょに少しでも味わえたらうれしいです。

公開講座 ⑧

聖書に親しみ、想像する楽しさを味わう



9月5日 土

講師 菊野秀樹 (きくのひでき)

幼稚園教諭として17年間、園児に聖書のお話を語ってきました。

しかし、ノンクリスチャンであった私は長い間、「私が聖書のお話を語る資格があるのだろうか」と問い続けてきました。キリスト教保育に携わる保育者の中にも、同じような戸惑いを抱えている方がいるのではないのでしょうか。

本講座では、AVACOにおける視聴覚教材の歴史や思想を手がかりに、実践経験を交えながら、園児に聖書を語ることの意味や、視聴覚教材を用いる意味について考えます。また、ノンクリスチャンの保育者が聖書と向き合う中で与えられる恵みについても、一緒に考えてみたいと思います。

主催

「子どもと聖書とエキュメニカル運動」検証プロジェクト

問い合わせ先

03-3567-1995
nccjedu@gmail.com

NCC エキュメニカル
協働基金 助成事業